

# 2020-21 年度 第 2780 地区方針および目標

第 2780 地区ガバナーエレクト 久保田英男（鎌倉 RC）

## 地区方針 「TOGETHER～+もっと自由に」

『楽しむための一番の方法は、この協議会や国際大会のような大勢の会議であれ、奉仕プロジェクトや例会であれ、皆が集まること（together）です。集まれば、より活動的になることができます。ロータリーのビジョン声明の最初の一語がこの言葉（together）であることも、驚くことではありません。』

ホルガー・クナーク 2020-21 年度 RI 会長は、国際協議会でこのように語りました。

仲間が集い（together）、おなじ目標に向けて協力し進むことで、一人では成し遂げられないことを可能にします。ロータリークラブは、一人一人に異なる生業を持つ者が集い、地域・国際社会に奉仕し、若い世代を育て、仲間の親睦深め、日々様々なシーンで活躍しているのです。小さな灯が集まり輝く大きな光になるように、今や世界を照らしています。

一方で、その輪をもう少し広げることも大切だと考えています。せっかく 100 年以上もの間、積み重ねてきたものをもっと多くの人に知ってもらい、そして参加してもらいたい、と思いませんか。何故なら、もっと多くの人が集まれば、多くのアイデアが集まり、より大きなこと不可能とっていたことが実現出来るかもしれません。何より多くの人に機会を提供できれば嬉しく思いませんか？

その為に何をしますか。

クラブの会員を増やすのもいいでしょう。

例会時間や曜日が合わなくて入会を迷っている若者の為に、衛星クラブや新クラブを作ることも、ローターアクトクラブを提唱するのも、いいかもしれません。ロータリー地域社会共同隊（RCC）も有効な方法ではないでしょうか。ほかにもまだまだ方法はあります。あらゆることを自由に考えてみましょう。

1905 年シカゴで 4 人が集まる（together）ことから始まりました。今年は日本にロータリークラブが誕生して百年目です。次の百年へ向けた新しい時代の扉を一緒に開けてみませんか。

### 【ロータリービジョンの声明】

『私たちは、世界で、地域社会で、そして自分自身の中で、  
持続可能な良い変化を生むために、  
人びとが手を取り合って行動する世界を目指しています。』

「Together, we see a world where people unite and take action to create lasting change — across the globe, in our communities, and in ourselves.」